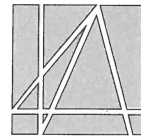


# 清流



## No. 43

●発行 社会福祉法人 かんな会  
〒375-0014 群馬県藤岡市下栗須887-1  
TEL 0274-24-5885 FAX 0274-24-6855  
E-mail kannakai-98@triton.ocn.ne.jp

### 22年を経て 「かんな会」前総合施設長 島野信美



西毛地区に知的障害者の核となるものを、と、多くの人のご支援のもと、社会福祉法人「かんな会」が、平成10年5月認可されました。

翌月、6月1日より、市の委託で市福祉作業所がスタートしました。現在も当時のメンバーが引き続き沢山利用されています。

「かんなの里」は翌年平成11年4月1日、順調に開所することができました。障害を持つていても、生まれてきてよかった。生きてよかった“と思える居場所を、という発起人の願いのもと、できるだけ家庭に近い環境の提供を心がけました。職員は、もし自分の家族だったら、こうして欲しい、こんなことはして欲しくない、ということを中心に考えて支援しようと。市街地であり、建て売り住

宅が隣接していたので、「お茶飲みに来て」と言われるような関係になれたら、という軽い考えは、すぐに甘かったと。無防備故に、ご迷惑をおかけし、1m20cmのフェンスは、2mに継ぎ足しました。

「かんなの里」は、とにかく前面に出て理解して貰おうと、夏祭りのパレードに参加したり、市民綱引き大会にも、過去においては常連でした。現在は月一回の「かんな通信」を地区の広報と共に配布してもらっています。みかぼみらい館での6月の藤華祭、1月の地域支援セミナーも、障害の理解の広まりを目的として、継続の恒例行事となっています。コロナ禍が収束して、早く再開できればと願っています。

開所してから、毎日のように見学者が来園し、市内の小、中学生も休みにはボランティアに来て下さいました。一般の人、ガールスカウト、実習生等々。いづれにしる、「かんなの里」

や他の事業所に来園された方が、障害への理解者として広がっていくことは、大変嬉しい限りでした。

職を辞するに当たり、当時お世話になった、元市福祉課の人が、「かんなの里」に訪ねてきてくれました。県内では入所施設の長としては初めての女性であること、そして、施設長は教祖でなければ、と言われる、とても無理だと思いました。

マンツールの勉強会もして頂きました。スタートして3年は、目が離せなかつたこと、その後もずっと見守って来たこと。こういう人がいて、大過なく任務を果たせたのだと、改めて感謝です。

年度末の3月20日、久しぶりで保護者会を開きました。(場所はポプラ)主任が、一人一人の短いエピソードの近況報告をしました。帰省も面会もない中、「親の知らない間に、思いがけず出来るが増え、成長しています」と。安心して、笑顔で帰りました。今年の園内セミナーの講師、宮下智氏の「利用者一人一人の物語を語る支援員であれ」とはまさにこのことなだらうと。よい保護者会でした。

た。

「かんなの里」を中心として、今年度も月三回の勉強会が始まりました。他職種から転職した人も、それぞれに研鑽を積み、この職の喜び、奥深さに気づき、立ち止まらないで学ぼうとする姿勢は、「かんな会」の誇りです。

利用者、保護者、職員の皆様から、それぞれに温かい言葉で送って頂きました。人とのつながりは何にもかえられない財産です。これからも微力ながら応援させていただきます。長い間ありがとうございました。



# かなの里

令和2年10月～令和3年3月まで

## ～研修特集～9.10月



市内の銘菓 食べ歩き



甘楽町 楽山園



榛名湖



土師神社(相撲辻)

### 10月音楽会



のど自慢



上野スカイブリッジ



土と火の里で 染色



市内の洋服屋さんで  
買物ツアー

### お正月



かな神社で初詣で



12月もちつき



12月クリスマス会

### 10月音楽会



班対抗  
(ジブリ特集)

## 3月 お楽しみ会 職員も仮装して



3/31 島野信美 施設長  
お別れ会



アイアンマンと



ボウリング



いちご狩り

..... かな会 かなの里 令和2年10月～令和3年3月までの主なできごと .....

- 10月
  - ・個別支援計画見直しのためのケース会議
  - ・日帰り研修(藤岡市内、榛名、上野、甘楽富岡方面)
  - ・インフルエンザ予防接種(19日)
  - ・新島短大生、実習(20日～11日間)
  - ・音楽会(28日)
- 11月
  - ・しなのめ信金藤岡営業部絵画ロビー展(12月まで)
  - ・研究発表会(5日、マロニエ、生方さん)
  - ・秋の健診(6日)
  - ・ウイルス抑制フィルターエアコンへ取付(16日)
  - ・県社協表彰(19日、理事長、ポプラ鈴木、もくせい町田)
  - ・かなの里セミナー第一回(20日、宮下智氏、オンライン)
- 12月
  - ・自閉症カンファレンスNIIPPON(オンライン12月15日)
  - ・拡大摂食、えん下会議(15日)
  - ・理事会(15日)
  - ・保護者会ポプラで、(19日)
  - ・評議員会(23日)
  - ・クリスマス会、バイキング(25日)
  - ・もちつき、年末大掃除(28日)
- 1月
  - ・県へ、社会福祉施設整備費協議書提出(15、25日)
  - ・新年会(21日)
  - ・消防設備点検(28日)
- 2月
  - ・節分、豆まき(2日)
  - ・市立小野中学校JRC車椅子一台寄贈
- 3月
  - ・県より社会福祉施設整備費補助金内定通知(3日)
  - ・同 交付決定(10日)
  - ・県より感染症緊急包括支援交付金の助成を受ける
  - ・かなの里セミナー第二回、宮下智氏(15日)
  - ・理事会(16日)
  - ・自閉症啓発デー絵画展示館林(24日)
  - ・避難訓練(25日)
  - ・評議員会(26日)
  - ・島野信美施設長退任式(31日)
  - ・施設長等引継式(31日)

藤岡市福祉支援センター

〈生活介護事業〉

(生活班・作業班)

コロナ禍で、多くの行事や外出訓練などが中止となるなか、もくせい内で感染予防に努めつつ、少しでも楽しめる時間を作っています。

その一つが年度末食事です。各自好みのお弁当やデザートを選んでもらい、数日前からわくわくしていました。いつもより少し贅沢なお弁当とケーキに皆さんとても満足そうな良い笑顔でした。また、来年度に向けての抱負を一人ずつ発表してもらいました。

(記：看護職員 平井直子)



もくせい

〈就労継続支援B型事業〉

(就労班・作業班)

コロナウイルスの影響で施設外の活動の自粛が続いている中、授産作業や訓練など施設の中で出来ることを皆さん一生懸命に取り組んでおります。就労継続支援b型事業(就労班)の利用者さんに21年度の目標を考えて頂きました。「お掃除の作業を頑張る」、「お給料がアップするようにお仕事を頑張る」と皆さんやる気に満ちあふれております。

一日も早く以前の日常生活に戻ることを願い、感染予防など今出来ることをしっかりと行いながら、今年度も皆さんと一緒に頑張ります。

(記：職業指導員 萩原英幸)



もくせい  
令和2年10月～令和3年3月の  
主なできごと

- 10月 藤岡特別支援学校2名職場体験 (5～9日)
- 所内スポーツ大会 (23日、もくせい食堂)
- 利用者インフルエンザ予防接種 (29日)
- 11月 利用者健康診断 (6日)
- 12月 二葉養護学校1名施設見学 (10日)
- クリスマス会 (17日)
- もくせい納会 (28日)
- 冬季休暇 (12/29～1/4)
- 1月 藤岡特別支援学校1名職場実習 (25～29日)
- 2月 利用者個別面談、個別支援計画策定 (15日～)
- 3月 防災訓練 (25日)
- 年度末食事会 (26日、もくせい)

マロニエ

サービス管理責任者

飯島 裕

令和2年度は、3月までに新たな利用者の方が1名増えて、現在22名で活動しています。令和2年度も、新型コロナウイルスに悩まされる年となりました。

コロナ禍で、外出制限がかかる中、利用者の方にも楽しんで頂ける様、室内のイベントを中心に行ってきました。また時期を見て、少人数ずつの外出行事も行いました。パーベキユー班、サファリパーク班、食事メインとした班に分かれて行いました。外出計画の際には、利用者の方が楽しめるのはもちろん、食事はテラス席などでの設定、3密を避けた場所での検討



など綿密に計画を練り、実行としました。久々の外出の為か、皆さん笑顔多く見られる外出事となりました。まだまだ油断出来ない状況ではありますが、1日も早い収束を願っています。



マロニエ  
令和2年10月～令和3年3月の  
主なできごと

- 10月 お楽しみ食事会 ココス (13日)
- 非常食体験 (21日)
- 音楽会 (28日)
- インフルエンザ予防接種 (29日)
- 11月 健康診断 (6日)
- 園内研修 (13日)
- 12月 お楽しみ食事会  
いきなり! ステーキ (6日)
- グループ旅行  
(9月～12月にかけて7グループに分かれて実施)
- クリスマス会 (22日)
- 餅つき&大掃除 (28日)
- 2月 節分 豆まき (2日)
- いちご狩り代替行事 (23日)
- 3月 納会 (9日)



# ポプラ

生活指導員 鈴木ゆき子

コロナ禍での新しい生活様式になり、早1年経ちました。この1年、ポプラは生活様式の変化を受け入れながら、感染対策をしつかり行い、作業や行事など活動を行ってきました。例年実施している行事で変更や中止となる場合もありましたが、形を変えつつ、利用者さんが楽しめるイベントを考え、工夫して実施しました。

外出は屋外での活動がメインとなるプランで行いました。9月のグループ日帰り旅行はサファリパークにでかけ、車内から動物を間近に見ることができ、利用者さんも職員も大興奮。その後、甘楽町のふるさと館でバーベキューをしました。11月には鬼石町へみかん狩りへ出かけ、天候にも恵まれ、楽しむことができました。今年度の前半は外出を自粛していたので、久しぶりに外の空気を思い切り味わうことができた外出でした。

また、例年の2月はいちご狩りへ出かけていますが、今年度はポプラの施設内でイベントを実施しました。昼食はココイチのカレーをテイクアウトし、午後は初めての試みでポプラ内で

「宝探し」をしました。最後にいちごのお土産を持ち帰り、特別な一日を楽しむことができました。



## ポプラ 令和3年9月・10月の主なできごと

- 9月
  - ・日帰り旅行(3グループでサファリパーク・バーベキュー)
- 10月
  - ・音楽会(28日)
  - ・インフルエンザ予防接種(29日)
- 11月
  - ・健康診断(6日)
  - ・みかん狩り(3グループでグループ外出)
- 12月
  - ・クリスマス会(17日)
  - ・餅つき、大掃除(28日)
- 1月
  - ・冬季休暇(29日～1月4日)
- 2月
  - ・新年会(21日)
  - ・お楽しみランチ(ココイチカレー)(25日)

## かななの里相談支援事業所

所長 君野文子

昨年度、主任相談支援専門員の研修に参加させていただきました。その中で相談支援専門員は質の向上と専門性を高めることと併せて、多職種連携、地域づくりの役割も求められていることを学びました。それは、日々の業務で実感していることでもあります。改めて研修の機会で立ち位置を確認し、個別の相談支援を丁寧に行なうなかで、より意識して取組んでいかなければと再認識しました。そして、その目的は、障がいのある方の地域での安心した生活のためであることは言うまでもありません。個別の課題を地域課題として捉え、法人・分野等を超えて、地域の関係者と連携・協働しながら、地域共生社会の実現の一端を担っていきたいと思います。今年度は職員が一人増えました。よろしくお願ひ致します！



## 沢山の善意 ありがとうございます

(令和2年10月～令和3年3月迄)

(順不同・敬称略)

- (かななの里)
- 若井美枝子 矢鳥雅子
- 荻野節子 宮崎公子
- 須貝伸一 今井憲之
- 飯島愛子 群馬蒞弱協同組合
- 村田茂行 柏原保次
- 永井昇一 持田洋子
- 市立小野中学校 JRC
- 車椅子一台

### (各事業所へ)

- ・市より 手指消毒液、清掃用消毒液、手袋
- ・厚生労働省より マスク
- ・県よりPVCグローブ



小野中学生より車椅子寄贈

## かななの里 令和2年10月～ 令和3年3月

〈事故報告〉計33件  
内訳

- 転倒 6
- 器物損壊 10
- 薬の誤薬、落薬 1
- 誤嚥 1
- 利用者による加害 1
- その他 6

・器物損壊、転倒は高齢化に伴う件が多い。  
・事故を減らすよう細心の注意をしよう。

〈相談・苦情受付〉計4件  
面会(10、11月)の際の要望が2件、服装などの注意。少しの要望でも耳を傾け丁寧に対応する。

## 編集(後)記

令和3年3月31日、園長他4人の引継ぎ式をしました。利用者にわかりやすいようにと、職員がたすきを作って用意してくれました。任務を終えた者、新しくまかされた人、それぞれの思いは違っても、迎える会場は優しくあたたかい空気が流れていました。(N,S)



## かなな会評議員、第三者委員 高木 方さんご逝去

(4月18日87才)

創立以来、23年間、かなな会のために、ご尽力頂きました。謹んでご冥福をお祈り致します。